



由良町

こんにちは! 議会です

発行/由良町議会 発行責任者/議長 上野 諭
編集/議会広報編集委員会
〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1
TEL.0738(65)1100 FAX.0738(65)0226

2013.5.1

NO.98



ゆらっ子

ピカピカ 新入生

平成25年 3月定例会 3月11日～19日開会

当初予算

平成25年度一般会計・特別会計 歳入・歳出それぞれ総額 77億6460万円

平成25年3月11日から19日までの9日間の会期で開きました。今回の定例会では条例8件・条例改正15件・条例廃止1件・人事案件1件・当初予算7件・補正予算4件すべて可決・承認・同意しました。一般質問は5名の議員が登壇しました。全員協議会では、白崎海洋公園や保育所統合などについて活発な議論がありました。

平成25年度 一般会計

歳入。歳出43億7700万円

- ①安全で住みやすい町づくり
 - 14億9687万円
 - 防災対策事業
 - 下水道事業
 - ②健やかで生きがいのもてる町づくり
 - 6億3700万円
 - 高齢者対策
 - 障害児者対策
 - 医療対策
 - ③子どもの育成支援
 - 10億3990万円
 - 統合保育所整備事業
 - 子育て支援事業
 - こども医療費
 - 児童手当
 - 保育所運営費
 - 学童保育
 - 青少年対策
 - 小・中学校
 - ④活力ある地域産業づくり
 - 9356万円
 - 農業振興
 - 漁業振興
 - 商工業振興
 - 観光振興
 - 地域・ひと・まちづくり事業
 - ⑤交通基盤の整備
 - 1億4794万円
 - 町道整備
 - 交通網の充実
 - ⑥高度情報化の基盤整備
 - 2090万円
 - 情報系システムの共同構築
 - 町ホームページの更新
 - インターネットカメラの設置

統合保育所整備に 6億7900万円

（税務課長）法人町民税増額の要因は、町内企業によるものです。景気動向にもよりますが、本年度は増額が見込めると考えています。

歳入

風力発電の償却資産の課税額は？

今年度は、4073万円

歳入

（質疑の一部）

歳入

固定資産税が、前年度と比較して4000万円減額になっているがその要因は？また、風力発電の償却資産の課税額の調定額は？

答

（税務課長）固定資産については、近年の土地下落傾向により、宅地が平均で約6%評価が下がっています。

問

近年、固定資産税は減少せず徐々に増額していましたが、新しい投資が少なく償却資産も下落し、固定資産税4000万円の減額要因となっています。

答

（教育長）教育委員会では、保育内容について関心を持って学習しています。現在、小・中学校の連携を一番重点的に取り組んでいます。小・中学校連携部会においても保育所との交流も活発に行うようお願いしています。

法人税の増額要因は？

町内の企業の見込み額

問

前年度と比較して法人町民税が1330万円増額となっている。その要因は？

町単工事の発注はいつ頃？

問

町単工事について、昨年、産建厚生常任委員会から「要望・箇所付け・概算要求・実施設計・発注」の早期実施要望がでていますが？

答

（産業建設課長）25年度は、従来通り3月に要望を聞き発注していきます。26年度からは11月初旬に要望をまとめ、新年度予算編成へ有効に役立てるという事を区長会へも申し入れ承諾を頂いています。

シルバー人材センターの現状は？

問

シルバー人材センターは、かなり活用され、利用した方から喜びの声を聞きました。もっと利用されるようにPRするべきだと思いますか？

答

（住民福祉課長）現在、録が38名、利用件数が267件の依頼がありました。まだまだ、女性の会員登録が少ない状況です。皆さんの意見を参考にしていきます。

歳出

保育所と小学校との連携は大切

保・小の連携は大事な項目

問

保育所を卒園後、小学校で就学しやすくするために、保育所と小学校との連携が大切である。検討されているのか？

答

（教育長）教育委員会では、保育内容について関心を持って学習しています。現在、小・中学校の連携を一番重点的に取り組んでいます。小・中学校連携部会においても保育所との交流も活発に行うようお願いしています。

法人税の増額要因は？

町内の企業の見込み額

問

前年度と比較して法人町民税が1330万円増額となっている。その要因は？



統合保育所の進み具合は？

問

タイムスケジュールについて説明願います。

答

（副町長）26年4月開園に向け、現在「認定こども園」として、準備を進めています。今後、7月に既設保育所の廃止手続きを県と協議、12月に認定こども園の申請、来年2月頃、認定を頂く予定です。また、公設民営のことについては、26年度は町で運営し、27年度から指定管理（民営）したいと考えています。

制服はどうなる？

問

制服の件について、新しく変わるのですか？

答

（住民福祉課長）中学校の統合時と同じ考えで、新しく入園される方は新しいネームの入った制服で、在園児は今までの制服でと考えています。



グラウンドを芝生に

問

グラウンドを芝生に、また、トイレの数は？

答

（副町長）トイレの数は限りがあり、グラウンドの芝生化については、提言を頂いておりまして、ある程度は考えていますが、維持管理についても保護者等の協力を頂ながらやっていきたいと考えています。

通園バスの負担は？

問

通園方法について、具体的には通園バスになると思いますが、自己負担の割合は、どのようになるのか？

答

（町長）基本的には、自己負担にして頂くと考えています。保育料と通園バスの負担を含めて、今までより負担が高くなるように出来たらと考えています。

「認定こども園」とは？

「認定こども園」は、幼稚園・保育所等のうち、下記の機能を備えるものとして、都道府県から認定された施設です。

- ① 小学校就学前の子どもに幼児教育・保育を提供
保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能
- ② すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う機能

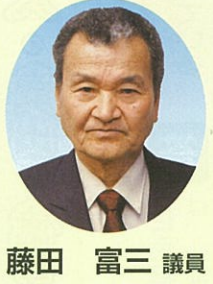


一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は5名の議員が質問に立ち、町当局の考えを質しました。以下その内容を要約してお知らせします。(文面はすべて質問者本人の原稿によるものです。)

町内の老朽化したインフラ設備の対応は?

修繕をしなければと
考えている



藤田 富三 議員

問 町内の社会資本やインフラ設備などが、老朽化しています。そこで、お聞きします。

- ① 町道の路線と距離
- ② 町内の橋梁数
- ③ 町内の水道管総延長
- ④ 公民館や町営住宅などの町有財産建物数
- ⑤ それぞれの経過年数と対応は?

答 (町長) 社会資本の老朽化についての質問ですが、町の24年度補正予算においてインフラ整備、緊急のトンネルなどの緊急点検、橋梁、道路の劣化したものなどについて予算化されました。これを受けて、町も24年度補正予算の中で町道整備として4100万円を計上し、橋梁の悪いところを更新します。また、トンネルや照明器具などの危険箇所を点検予定です。

①町道については、25年3月1日現在で総延長は152km。経過年数は、新道路法が昭和27年に公布され順次、道路認定を実施してきました。今後、維持補修を実施し、橋梁、トンネル舗装修繕を計画しています。

②橋の数は、121橋。経過年数については、橋梁台帳に架設年次がほとんど記載されていない状況で、経過年数が分からないようなものが多いのが現状です。ただし、橋長15m以上の8橋については、経過年数が15年、44年と台帳には記載されている状況です。

橋梁超寿命化修繕計画に基づき、3橋について対策が必要であるとの結果が出ています。

③水道管の総延長は、89kmです。22%の管路は、40年以上経過しており、残り78%は40年未満という事になります。近年、下水道工事を行っていますので、それに伴って更新、耐震化などを行っている管路が78%の中に相当数含まれています。

④ため池数は、74です。由良地区は42、白崎地区は9、衣奈地区は23です。これらのため池については、築造年代が江戸時代や明治以前で、近年、ため池を造った記録はありませんが、一部改修などは行っておりません。

警戒を要するため池が、4池あると地域防災計画に記載されています。うち1池が、調査計画の予算化をしています。

⑤建物の経過年数については、町営住宅は、築後37年、45年経過した5団地です。中央公民館は35年、衣奈公民館は19年、白崎公民館は15年、それぞれ経過しています。老人憩いの家については、築後25、38年経過した建物9棟です。地域福祉センターは築後20年、児童館については35年経過しておりません。

老朽化したものについてはそれぞれ適宜修繕をしていかねばと考えております。

問 町の行政改革で人員削減がされた結果、今後災害時、社会インフラ設備の復旧に支障をきたすのではないかと?

答 (町長) 行政改革に伴い、110名から84名体制では厳しい状況かと思っております。

【他の質問】
◎増え続ける耕作放棄地について

風力発電の低周波騒音被害

保健所や保健師に相談を



由良 守生 議員

問 一般大衆紙において、東大の研究室や一流企業、大臣を務めた人が、「風力発電は低周波騒音があるから別の選択に向かう」のだと発言しています。

由良町に住む人々が、風力発電の低周波により、耳が痛い、頭が痛い、気分が悪い、うなずいてたまらない、といった被害に苦しんでいる。

風力発電の建設に際しては、由良町と風力発電事業者、地区との三者で協定書が交わされており、第2条には低周波、電磁波等により、地区住民に苦痛を与えないこと、と明記されている。

和歌山県の環境衛生研究センターは、海南市下津町において風車による低周波を測定して報告している。

畑地区では保育所の建設計画がある。子供に深刻な影響があると心配するが、被害者は安心して暮らせられないものか。耐えて我慢して、いかねばならないものか。

答 (町長) 事業者において騒音低周波の測定が行なわれており、地元には報告されています。測定された数値については正しいものと理解しています。その結果、騒音、低周波については一般的な住宅内に存在するレベルと変わりないという報告を受けています。

そういう中で、影響が健康被害を与健康相談につきましては、御坊保健所、町の保健師に相談していただきたい。

また、畑小学校では、風車により健康被害した生徒はいませんでした。騒音についても、気にならなかったと聞いています。特段、考え直すつもりは、ございません。

社会生活を送っていく中では、ある程度のリスクを覚悟しながら生活していかなければなりません。

我々の環境の中には、低周波音を発生する機器等が相当あります。その中で風力発電がどれだけというものは、なかなか測定を難しいように思います。

一概に、風力発電の低周波で耳鳴りがするといったことは、結びつかないように思います。

避難道路と避難場所のこれからの計画は?

要望も踏まえ順次整備をしていく



吉田ひとみ 議員

問 南海トラフ地震の対策として、避難道路と一時避難場所での設備や町のこれからの計画は、具体的にお願いします。

答 (町長) 地域防災計画及び津波避難場所案内板の修正、蓄電池のLED避難誘導灯の設置、自主防災会への資機材の貸与、各防災会が実施する避難路等の整備に対する補助金も予算計上して実施していきます。

津波一時避難場所への避難路の整備については、ブロック塀の撤去、あるいは樹木の伐採、階段及び手すりの設置を中心に平成23年度から、県の「きのくに」フープアップ補助金を活用して網代、横浜、阿戸・南区に、順次整備を行っています。

蓄電池のLED避難誘導灯も町内全域で516基、平成25年度も、各自主防災会からの要望も踏まえ計画的に実施していきます。

問 網代区の一時的避難場所の広い場所へ公園的な場所が必要では?

答 (町長) 網代区の見上山村付近を整備しましたが、今後も地元自主防災会の皆さんと相談しながら検討していきます。

鳥害被害対策を

何らかの手立てを行いたい

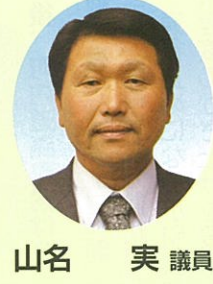
問 鳥害被害の対策について、最善の対策をお願いします。

答 (町長) 青鷺(きんぎょ)は、和歌山県が策定した第11次鳥獣保護事業計画書の中で、由良町が青鷺による被害発生予防策表に被害発生地域として指定されているために、有害捕獲が行えます。

しかし、なかなか銃による駆除は家が密集しているので使えない状況です。対策としては、テグス糸、ネットを張る、巣の近くで爆音を出す、夜間に巣に向けてライトを照らす、風船による防鳥具、樹木の伐採などが考えられます。山林の面積も広く、その樹木を伐つても奥へ逃げるというふうな形で、抜本的に無くしてしまう事は不可能に近いと思っております。区からの要望もございまして、何らかの手立てをしていかねばと思っております。

若者の定住対策と町有地の有効活用は?

更に検討していく



山名 実 議員

問 若者の定住対策については、昨年の6月にも質問しましたが、我が由良町は過疎化が進み、今年2月末現在の人口は6,547人とこの1年で103人の減少となっており、単純計算で5年後には6,000人を切るかと思っております。

人口流出に歯止めをかけなければ、由良町の未来は、ないように思い危機感を感じております。

前回の質問では、町長から「町有地を民間に賃貸して、というのは検討しているか、勉強していく必要があるか」と思っています。「と答弁されています。

そこで、若者の定住対策、町有地の有効活用と町営住宅の問題について、どのような検討並びに勉強されているのか。また、考えられる施策等が決まっておればお聞きさせていただきます。

答 (町長) 人口の減少や少子高齢化に、各自治体で様々な定住対策が定められていきます。

当町でも乳幼児や妊婦検診への助成等色々な施策を講じてきましたが、なかなか歯止めがかからない状況です。

保育所の統合で、3保育所の用地が遊休となつてきますので、それを住宅地として使うというのは考えられます。

町有地の売却、あるいは町有地を賃貸して家を建ててもらおうことについて、今検討を進めているところです。しかし、提供する場所が確定しておりませんので、検討の域を出ておりません。

戸建てができるような町有地があれば民間に売却、あるいは貸して建てるという方法についても更に検討してまいりたいと思っております。できるだけ住宅を建ててもらえるような環境、建てやすい環境を提供していくことが大事かと思っております。

答 (参考) 町営住宅については、財源的に厳しい状況です。建て替えについては、新築の計画は持っていますが、今の所は、改修、修繕で対応しているところですので。

その後、どうなった風力発電

低周波には個人差がある



川出 純 議員

問 昨年12月、町長は、地元の要請によって「由良町の風力発電について考える会」との懇談会をもち、風力発電による被害の声を聞いてくれました。

そして、被害を受け体調不良を訴える方のために、町として保健師が相談にのる体制をとってくれる事を約束してくれました。この懇談会をどのように受け止められているのでしょうか?

答 (町長) 昨年の12月に畑区長を通じて、由良町の風力発電について考える会と話し合いの場を持ちました。

その中で、私は、騒音については、風の強弱にもよるし、ある程度のレベルの音、騒音が出てくることは、誰もが認めておりますが、これを否定するものではありません。

低周波に関しては、個人差があるんですよ。

保健所、あるいはまた、保健師によりまして、昨年の3月頃に、3人の方が来られてから、その後、相談には来ていません。

介護専門書の貸し出しを

公民館にもあります

問 現在の日本は、世界に類を見ない高齢化社会となっております。そのため85歳以上の方では、4人に1人の割合で認知症になるという現状があります。

日本の介護サービスの実態は、家族介護が基本になっています。

介護するには、基礎知識がなければ、苦しい生活になります。知識があれば楽しい生活になります。

住民福祉課で貸し出し用の専門書を設置されたい。

答 (住民福祉課長) 専門書につきましては、パンフレットや認知症予防の本はありますので、利用してください。

また、公民館にも貸し出し用があります。

【他の質問】
◎公用車の電気自動車化に向けて
◎JR紀伊由良駅のトイレの水洗化について
◎プラスチックの回収について
◎小水力発電を考えるべきではないか

平成25年度 特別会計予算

総額32億5580万円

国民健康保険

歳入・歳出10億1500万円

健康教室とその実績

参加人数が増加

問 健康教室は、色々な名称でおこなわれていると思うが、町内での実績はどの様になっているのか？

答 (住民福祉課長) 町内での実績としては、住民の方々が集まる場所、健康予防のための講座や、また、保健師が出向いて、特に「いきいきサロン」などで口

後期高齢者医療保険

歳入・歳出1億5060万円

健診制度はあるのか

指定された機関で受診できます

問 この予算の中で、色々な健診制度があるのか？

答 (住民福祉課長) 健診制度は、ありです。健診内容は、国保の特定健診と同じような項目で指定された医療機関で受診すること

介護保険

歳入・歳出7億4940万円

介護保険料の値上げをどうするか

制度の見直しを国に要請している

問 介護保険は、3年ごとに料金値上げしなければならないと思われませんが、どのように対応しているのか？

答 (住民福祉課長) 第5期では、基準額が月額5690円、1900円の値上げとなっており、危機的な状況です。国に対しても、今後、制度の見直しについて働きかけをしていかなければと思います。



答 (町長) 高福祉であれば、高負担を覚悟しなければなりません。今の制度では50%を被保険者で持ち、残りを公費とい

公民下水道事業

歳入・歳出4億3990万円

加入率を高めるには

啓発活動をお願いします

問 加入率を高めるためには、啓発活動が一番大事です。各種団体などが、終末処理場の見学要望があれば、受けてくれるのか？

答 (上下水道課長) 昨年、由良小学校の4年生の児童や学校の教職員、地域の婦人の方々が研修として見学しています。土・日・祝でも要望があれば、我々職員が出向いて説明、啓発していきます。

問 非常時のトイレとして、マンホールは使用できるのか？また、トイレの囲いはどうなるのか？

答 (上下水道課長) 下水道の場合、圧力管ではないので、マンホールを開けて何日間はトイレとして使用できます。最近、安価な囲いも販売されていますし、それぞれの自主防災会でビニールシートを張って囲いなどをすれば、2〜3日はトイレと



由良クリーンセンター

う制度は、負担の限界に近づいています。全国町村会を通じて国に要請しているところです。

漁業集落排水事業

歳入・歳出6億9090万円

水道事業

支出3億4180万円

量水器の取替は

定期的に取り替える

問 量水器は定期的に取り替えているのか？

答 (上下水道課長) 法律で定められた8年の使用期限があるので、年次計画をたて取替えています。



平成24年度 一般会計補正予算

歳入・歳出39億3560万円
(1億2910万円増額)

由良町観光公社解散に伴い、2300万円を支援

問 昨年12月定例会において、白崎海洋公園の管理を「一般社団法人白崎観光プラットフォーム」へ指定管理料無しで指定管理する議決をしました。今回、3月末で解散する観光公社への2300万円の支援に至った経緯を説明をお願いします。

答 (町長) 公社は、町の観光行政に大きく寄与した観光公社です。平成20年12月に施行された「新公益法人制度」に伴い、公社を解散する事を公社理事会が決定しました。公社においては、今までいろいろな経営改善を行い、また、数千万円の経費削減を3年間実施してきましたが、結果として24年度決算で2300万円の赤字が残る結果となりました。

問 町に対して、公社理事会から強い支援要請もあり、今回の補正予算計上に至りました。白崎海洋公園は、和歌山県においても財産です。今後、智慧を出していくべきだと思いませんか？

答 (町長) 今後は、新しい管理者の(社)白崎観光プラットフォームを中心として観光協会や青少年の家ともタイアップをしていけば、白崎から衣奈にかけての県立公園の観光振興につながると思います。

衣奈〜三尾川間の道路改修費用に9100万円(一般財源300万円)

問 補正予算の新設改良費について？

答 (副町長) 三尾川〜衣奈間については、旧県道を町道に変更していますので、補助金を活用して進めていきます。

問 今後、町内道路整備は？

答 (副町長) 小引〜白崎間(県道)は、県単独工事として1.5車線程度の道路でお願いをしています。台風により、通行止めになる小引農村広場付近の道路については、2m程度のかさ上げを要望しています。吹井〜江ノ駒間(県道)については1.5車線で幅員5m、歩道3mで整備されます。門前〜衣奈間(県道)のトンネルについては、24年度で測量の調査設計が完了し、本年度から用地買収を予定しています。

新しい議会構成です

- 議長 上野 諭
- 副議長 玉置 一郎
- 総務文教常任委員会
- 委員 馬場 博文
- 副委員 山名 実
- 産建厚生常任委員会
- 委員 中村 森
- 副委員 山名 実
- 議会運営委員会
- 委員 藤田 富三
- 副委員 吉田ひとみ
- 地域活性化調査特別委員会
- 委員 藤田 富三
- 副委員 中村 森
- 議会広報編集委員会
- 委員 吉田ひとみ
- 副委員 由良 守生

人事

◎由良町固定資産評価審査委員会委員任期満了に伴い、
濱田 彰氏
(大引722番地)
の選任に同意しました。

編集後記

春のおとずれと共に満開の桜も散り急ぎ、少し桜の命が短く感じました。どうか楽しい事、嬉しい事は長続きして欲しいと願う今日この頃です。私は、欲が深いのでしょうか？我がまち自慢を語り合おう、町議一同です。

議会広報編集委員会

- 委員長 吉田ひとみ
- 副委員長 由良 守生
- 委員 山名 実
- 中村 森
- 玉置 一郎
- 川出 純

※紙面の関係上、質疑応答は一部しか掲載できませんでした。